

2018

3

March
No. 300

広報

みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

欢迎！！（ふあんいん）
冬の三島町へようこそ！！

主 な 内 容

絶景を求めて世界中から	2～5	町史編さん室だより	9
町民記者通信	6～7	宮下病院からのお知らせ	10
健康で元気な毎日！	8	情報配信	11～13
図書のご案内	8	町長日記	14

絶景を求めて世界中から

外国人旅行者が第一只見川橋梁ビューポイントに集う

冬期間、道の駅尾瀬街道みしま宿付近の国道を歩く旅行者を目にすることが増えてきました。年々、外国人旅行者は増加しており、当初、台湾からの旅行者が多数でしたが、徐々にタイなど東南アジア諸国にも広がり、最近では、ヨーロッパからも訪れています。



カメラを構えると雪がやみ、開けた視界の先には只見線が顔をのぞかせた。列車が通過すると、雪が再び降り出した。(2月17日撮影)



度々町を訪れる台湾の方が撮影
(2月21日撮影)



絶好の撮影日和、川面に只見線が映る。
(2月16日撮影)

町の観光に異変が起きた。
年々増加する外国人旅行者

道の駅尾瀬街道みしま宿近くに位置する「第一只見川橋梁ビューポイント」は県内外から鉄道ファンが訪れ、特に紅葉の時期は、多くのカメラマンで賑わう町の観光スポットです。

ここ数年、そのビューポイントに訪れる客層と、人が集中する季節が大きく変化しています。

円安による影響で、東京を中心に日本への旅行者が増加し、「爆買い」が話題となりました。それも落ち着きはじめて4～5年ほど前から、ビューポイントを目指して、国道252号や県道小栗山宮下線（通称長坂）付近を歩く台湾人旅行者が目立つようになりました。

台湾からの旅行者が最多
旧正月「春節」期間は特に増加

中国や台湾で最も盛大に祝う旧暦の元旦は「春節」と呼ばれ、毎年日付が変わります。

「どこから来ましたか？」

観光協会が独自に調査開始
町観光協会は昨年10月から、道の駅尾瀬街道みしま宿や、町内の各駅構内に、旅行者の国籍を調査するボードを設置しています。

これは、旅行者がどの国から来たか、国別の人数を把握するために実施しているものです。

訪れた旅行者に、母国の国旗が書かれた場所にシ

今年は2月16日。この前日が大晦日に当たり、連休の初日となります。今年のカレンダーでは、6連休となり、その間、町を訪れる台湾人旅行者の数も大幅に増加します。今年は期間中100人の台湾人旅行者が訪れました。

台湾以外に東南アジア、ヨーロッパ各国からも来訪

平成24年から、国がビザの発給を緩和したため、全国的に東南アジアからの旅行者が増加しており、町でも昨年度はタイやマレーシアの旅行者が増えました。

今年も、国別の旅行者数は台湾に次いで、タイ、マレーシアが上位になりそうです。

また、少数ではありますが、フランスやドイツ、アメリカ、オーストラリア、インドなど、世界中から旅行者が集まっています。



ルを貼ってもらい、その数を集計し、今後の観光に役立てることが狙いです。

この結果から、台湾、香港、中国などの中華圏が上位を占めていること。タイやマレーシアなど、東南アジアの国から増加傾向にあること。イギリス、フランス、ドイツなどヨーロッパからも来訪していることがわかります。

JR 会津宮下駅における国別旅行者数 (三島町観光協会調べ)

○調査期間 平成 29年 10月 14日～平成 30年 2月 22日

国名	人数	国名	人数
台湾	577 人	韓国	7 人
タイ	76 人	アメリカ	7 人
香港	75 人	インドネシア	6 人
中国	42 人	フィリピン	6 人
マレーシア	18 人	イギリス	5 人
オーストラリア	13 人	フランス	4 人
インド	10 人	ドイツ	3 人
シンガポール	9 人	その他	4 人
マカオ	8 人	合計	870 人

旅行者に聞きました。



三島町への旅行はどうでしたか？

台湾からの旅行者

てん
鄧さん

今回を含めて日本は5回目で、福島は初めてです。昨日は会津若松市に泊まり、今朝のJR只見線で三島町まで来ました。

今日はあいにくの大雪で、写真がうまく撮れず残念でした。雪の中で写真を撮っていたら、体が芯まで冷えてしまいましたが、ビューポイントから降りてくると、豚汁や甘酒のおもてなしがあり、体も心も温くなりました。大変うれしかったです。

本当にありがとうございました。ぜひまた来ます！！謝謝。



旅行者でJR只見線の乗車も増加している

インバウンドとは日本に訪れる外国人の旅行のこと
インバウンドとは外国人が日本に来る旅行のことです、外国人旅行者を指す場合もあります。2020年の東京オリンピックを前に、日本全国でさらにインバウンドが増加すると予想されています。

今後、町ではインバウンドによる集客を只見線の利活用に繋げるために取り組んでいきます。

世界に向けて情報発信 同時に町の資源を磨いて、観光収入の増加を目指す
町を訪れる外国人旅行者の多くは、会津若松市に宿泊しており、町での滞在時間は長くありません。今回取材で出会った旅行者の中に、3日間会津若松市に宿泊し、毎日朝の只見線で町を訪れていたという方もおられました。町外に宿泊している方が町に宿泊してもらえるように、今後は、情報発信を強化するとともに、外国人観光者の受け入れ環境と体制の整備が必要です。また、町にある観光資源と特産品を組み合わせ、周遊型・滞在型の観光を推進していくことで、町内の経済効果を高めたいと考えています。

**今後も注目される訪日外国人旅行。
JR只見線の利活用を念頭に、
情報発信の強化と周遊型・滞在型の観光を推進し
経済効果を高める。**

●編集を終えて
2月、車道も歩道も凍って滑るか、雪が融けてびしゃびしゃに濡れているか、だいたいそのどちらかです。そんな足下の悪い中、本当に多くの旅行者が冬の三島町に訪れています。そのほとんどが外国人なので、さらに驚きです。「ここにはなんにもない。」とよく聞きますが、なんにもないこの町に、海を渡り、沢山の時間とお金を使って、大勢の外国人が魅力を感じて訪れています。

せっかく来ても天気次第では、絶景を撮れずに、雪だけ眺めて帰ることになるかもしれない。そればかりか、大雪で町にたどり着けない場合もあります。彼らにとって、ここに住む私たちは、とてもうらやましく映ることでしょう。

今回の取材で、無いものにとらわれるより、あるものに気付く大切さを改めて感じました。大事な事を気付かせてくれた、外国からのお客さん。今度見かけたら「はるばるようこそ」と一言声をかけてみようと思います。



道の駅尾瀬街道みしま宿での豚汁、甘酒のふるまいの様子。取材した17日はあいにくの大雪で観光者は豚汁を食べて身体を温めた。

三島へようこそ！

心をこめて、おもてなしを実施しました。

中国語を話せるスタッフを配置し、バスの手配や現地を案内

町では、はるばる訪れた旅行者をおもてなしするために、昨年からは春節期間中、道の駅において豚汁を無料で提供しています。今年も2月15日から2月22日まで、三島町産のヒラタケが入った豚汁や甘酒をふるまい、慣れない雪国の寒さで、芯まで冷えた旅行者の身体を温めました。

また、台湾からの旅行者が増加する1月下旬から2月下旬までの間、小林陽子さん（大登）が中国語の通訳を兼ねて、観光ガイドを務めました。小林さんは駅での出迎えや、道の駅でのおもてなしの他、旅行者の代わりに町のデマンドバスの予約手配などを行いました。日本語が話せない旅行者でも、安心して観光を楽しむことができました。

除雪、長靴貸し出し、雪でも旅行者の安全を確保

ビューポイントまでの遊歩道は勾配がきつ、転落事故を防ぐため、冬期間の立ち入りを禁止していました。しかし、以前から冬期間の立ち入りを望む声が多く、外国人旅行者も増加していることから、今年から解放しています。

観光者の安全確保のため、降雪時は町の除雪作業員が、遊歩道の最上部まで道つけを行いました。

また、道の駅で長靴を無料で貸し出し、ズックで訪れた観光者が安心して歩けるように配慮しています。

1_7時31分 JR会津宮下駅着の只見線で訪れた旅行者を出迎える小林陽子さん（写真左端）。2_道の駅での豚汁をふるまう小林さん（左）と地域おこし協力隊の館美里さん（右）3_旅行者が安心して歩けるように除雪を実施。勾配が厳しく除雪も大変。



吹雪の中、団子まき用の托鉢に歩く

文・写真 本名与四郎さん（西方）

2月12日、建国記念日の振替休日にあたる月曜日、午前8時30分に護持会の方々と三島小の子どもたちが西隆寺に参集し、団子まきのための「托鉢」が行われました。

早朝からあいにくの雪の舞う中、各家々では、前もって準備していた団子まき用のお米を子どもたちに手渡す光景が見られました。また、遠藤弘佳和尚さんによる御礼のお経が銀世界の中に響き渡りました。3月19日に檀家の女性たちが西隆寺の庫裏に集まり、ご厚意により施しを受けたお米で五色の小さな団子作りをする予定です。

なお、恒例の「団子まき」は3月21日（春分の日）の午前11時30分より西隆寺本堂で行われます。護持会会長の栗城卓夫さんは、「地区住民だけでなく、町内外からも春を呼ぶ団子まきに足を運んで欲しい」と話しました。



健康を維持するための出前講座

文・写真 本名与四郎さん（西方）



2月14日、西方ふるさとセンターで「出前講座」が行われました。今回も、宮下病院の看護師を講師として迎え、日常生活に密着した実践的な講話となりました。

はじめに健康寿命、健康維持のための三原則、シニア世代の食事の傾向、1日の塩分の適量など資料を基に、パワーポイントを活用して分かりやすく説明していました。最後に、日常生活では入浴前後や就寝前後など、のどが渇く前に水分をこまめに補給することが大切であること。アルコール、甘すぎる飲み物は水分補給にならないこと。夏野菜、ゼリー、果物などの水分を多く含むものを摂取することが健康維持に不可欠であることを聞きました。参加した地区民一人一人は、うなずきながら耳を傾けていました。

川井松音寺の団子まき

文・写真 角田伊一さん（川井）

2月15日、川井松音寺で涅槃会が行われ、大登・川井地区の檀信徒が多数参詣に訪れ、恒例の団子拾いに興じました。この日は奇しくもお釈迦様のお亡くなりになった日と重なり、斎藤住職様の涅槃図の解説にも熱がこもり、善男善女は興味深く寺宝の掛け軸に眼を凝らしていました。

この日まかれた千袋の袋入り三色団子は、14日に両地区のお母さんたちが丸めたものです。涅槃会に拾い集めた団子はゆでなおして食べたり、1個ずつ巾着に入れて肌身離さず持参するとよろずの災難を除けると伝えられています。



高清水地区に伝承されている「百万遍」

文・写真 菅家敏一さん（高清水）



2月7日、驚異的な寒波でドカ雪が積もる中、大きな数珠を持って各家庭を巡る「百万遍」を、今年は区長を先頭に巡回しました。

「魔除け」、「厄除け」、「疫病除け」のため、訪れた家の方々と「なんまいだ、なんまいだ」と唱えながら、一生懸命に心を込めて大きな数珠を3回まわします。数珠には、鎮魂、追善、豊穰、除災などの思いが込められています。

小さな地区の行事ではありますが、継続していきたいと思っています。また、地区では3月4日に「ひな流し」があり、その準備も進められています。

サイノカミのオンペイ切り

文・写真 角田伊一さん（川井）

2月10日、雪と火のまつりのメインイベント、サイノカミに供するオンペイ切りの作業が、滝谷・川井両地区の有志により川井集会所で実施されました。

午前9時に作業前の神事を行い、それぞれの伝統にもとづく素材と手法により手ぎわよく作業が進められました。

川井地区のボンボリ型の大オンペイは、全長20メートルの巨大サイノカミの頭部に飾られ、この日降臨して1年間町を守護する歳神様の依り代となります。この大オンペイを昼過ぎまでかけ仕上げました。

一方、滝谷地区は十字型の独特のサイノカミで、横軸の神柱がオンベとなるため、これに吊るす10mほどの荒縄に大量の紙垂れを織り込んだ横長のオンベを作り上げ、サイノカミ作りの会場に運びこみました。



今もなお継承される「子どもサイノ神」

文・写真 佐々木邦雄さん（松原）



2月11日、松原地区の「子どもサイノ神」が行われました。昔は子どもたちが主体でしたが、現在では地区役員が主体となっています。

子どもサイノ神は1月15日のサイノ神の御神木を再利用し、7mほどの大きさに作っています。また、県内では当地区だけの行事で、1月15日のサイノ神に参加できない人でも参加できることが特徴です。

夜7時、区長の海老名健さんと地区の子どもたちがサイノ神に点火すると、勢いよく燃え上がりました。みかんまきやもち焼き、御神酒をいただきながら、今年一年の健康と地区の繁栄を願い多くの参加者が行事を楽しみました。

滝谷地区では昨年二回の道の管理作業が行われています。春の道普請作業は、平成二十九年四月三〇日（日）午前八時から、六方面にそれぞれ五〜八名が分担し、それぞれ一名の責任者が付いています。

道の上・切伏・旧神社
沢入沢
居平・殿平（上・中・下）・社倉山
新町・大我野・山窪
館の越・滝谷原・上滝谷
鍛冶墓・自滝原・明ヶ沢

五名
五名
七名
七名
八名
七名

道刈り作業は、同年七月二十三日（日）午前七時半から、九方面で、その後地区の一〜三組が県道滝谷檜原線の除草、四〜六組が河川除草作業を行いました。鍛冶墓からの二班は終了後次の新町等を助けるように作業が行われます。

湯の上・切伏
殿平（上・中・下）・社倉山
沢入沢
新町・大我野・山窪
若林・館の越・大我野
和具・旧神社・集会所
鍛冶墓・明ヶ沢・自滝原
鍛冶墓・吉佐坂・自滝原
新町・上滝谷

三名
六名
三名
三名
五名
四名
三名
四名
四名
七名

こうした集落に附属する道は、集落と山林原野・田畑を結ぶ道であり、雪どけ後に荒れた道を直す「道普請」、七月には道端の伸びた草刈りをする「道刈り」が毎年繰り返されています。他の地方ではだんだんと忘れられています。上流側から滝谷に帰る時に正面に見えるので、帰り道への祈念を示しているのかもしれない。

文三島町史編さん専門委員 菅家博昭さん

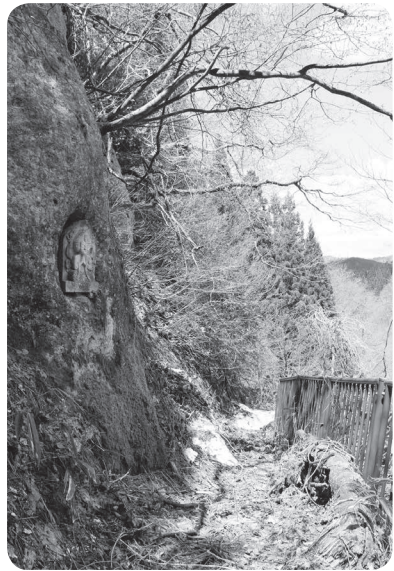
安政六末（一八五九年）八月吉日世話人 目黒貞蔵（若）林金三郎

全く風化しておらず、設置された環境がとてもよいことがわかります。多くの文化財はその意味を考える時、何故そこに置かれたのが重要で。滝谷の馬頭観音が安置されているのは、道が狭く断崖となっている場所で、かつて馬が落下したなど、何かしらの事故等が起きた、もしくはそういった危険な場所であると強く認識されていたからだと考えられます。

また生活の道路が大峯と滝谷を結ぶ路線であったことを証拠立てるものとしても、この位置に置かれたことに意味があるように思えます。上流側から滝谷に帰る時に正面に見えるので、帰り道への祈念を示しているのかもしれない。

町史編さん室だより

第 26 回



旧街道に安置された馬頭観音

かつて滝谷地区には馬車を利用して荷物を運搬していた人たちが五戸ほどあり、木炭や生活物資の輸送をしていました。現在のように滝谷川に沿った道を使用する以前は、柳津町大峯・軽井沢銀山と滝谷を結ぶ、銀山街道が主要な路線でした。

この旧街道の山道に岩盤をくり抜いて安置された馬頭観音の石像があり、次のように刻字があります。

道中を守る馬頭観音

☆緑黄色野菜でみんな元気！
寒い日が続いていますが元気にお過ごしですか？ 病気予防のために栄養をしっかりとりたい方も、野菜が高くて購入をためらう方も多いのでは？ 野菜を作っている方でも、冬は白菜や大根など白い野菜中心の食卓になりがちです。今回は緑黄色野菜と健康の関係について考えます。

☆なぜ野菜を食べなくてはならないの？
①細胞のアンチエイジング（老化防止）になる！
私たちの身体は約 60 兆個の細胞で出来ています。古くなった細胞を新しい細胞に取り替えることで健康を維持しています。この取り替えに必要なのが緑黄色野菜に多く含まれる「ビタミンA」。細胞の取り替えがスムーズに行われないと、風邪をひきやすくなったり、下痢や便秘になったり、様々な不調を起こしやすくなります。

②骨や歯、血管の材料になる！
緑黄色野菜に豊富に含まれるビタミンCは、骨や歯、そして血管を強くします。

③貧血予防になる！
緑黄色野菜には葉酸や鉄分もたくさん含まれており、血液のもととなる赤血球を作る働きがあるため、貧血予防には欠かせません。

④腸内環境を整える！
腸のお掃除に最適な食物繊維は、野菜全般にたくさん含まれていますが、白い野菜よりも緑黄色野菜に多く含まれる傾向があります。ブロッコリーやかぼちゃ、ほうれん草など、食物繊維を多く含む野菜を積極的に摂取することで便秘の解消が期待できます。

栄養たっぷり緑黄色野菜を食べて冬を元気に乗り越えよう

☆小さいお子さんがいるご家庭の方へ
野菜は必要だとわかっていても、子どもが野菜のうまみができるまでは時間がかかることがあります。そのため、子どもの野菜嫌いに悩むお母さんの声をよく聞きます。野菜本来の味だけでなく、においや食感、大きさなどが野菜嫌いの原因となっている場合もありますので、すぐには諦めずに、調理に少し工夫をしてみませんか？

☆レンジで簡単 おいしいスープレシピ（1人分）
電子レンジ対応の耐熱容器に材料を入れて
3分 チンするだけ！！

いろいろ野菜ミルクスープ

冷凍ミックス野菜→ 50g
牛乳 → 50cc
ツナ缶 → 30g
カップスープのもと → 小さじ 1/2

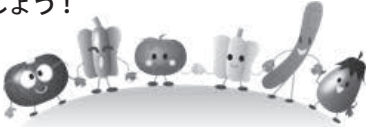
かぼちゃミルクスープ

冷凍かぼちゃ → 50g
牛乳 → 50cc
ツナ缶 → 30g
とろけるチーズ → 適量

ほうれん草とひき肉のスープ

ほうれん草 → 30g
豚ひき肉 → 25g
もやし → 30g
水 → 50cc
即席わかめスープ → ひとつまみ

大人も子どもも、栄養がぎゅっしりつまった緑黄色野菜を毎日の食卓にぜひ取り入れて、大雪で寒さの厳しい今年の冬も元気に乗り越えましょう！



図書のご案内

●今月のおすすめ

『オオカミがとぶ』
著者：ミロコ マチコ

動物たちが力強いタッチでいきいきと描かれており、思わず見入ってしまいます。第 18 回日本絵本大賞受賞作品。

●新着本

『おらおらでひとりいぐも』

著者：若竹 千佐子

74 歳の桃子さんは夫に先立たれ、子ども達とも疎遠な一人暮らし。ある日、自分の内側から懐かしい故郷訛りの声が聞こえてくる…。第 158 回芥川賞、第 54 回文藝賞受賞の話題作。

題 名	著 者
銀河鉄道の父	門 井 慶 喜
ふたご	藤 崎 彩 織
おもかげ	浅 田 次 郎
生きていくあなたへ	日 野 原 重 明

○利用時間 ㊟～㊵ 午前9時～午後9時 ㊟・㊶ 午前9時～午後5時

※年末年始は閉館いたします。

問 公民館 ☎ (48) 5599



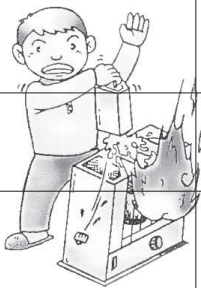
暖房器具からの火災を防ぎましょう

毎年、寒い時期は暖房器具を使用していることと思いますが、ちょっとした気の緩みや不注意などにより、多くの火災が発生しています。暖房器具の取り扱いには十分に注意しましょう。暖房器具からの火災防止チェック表を記載しますので、ご家族みなさんと点検しましょう。



暖房器具からの火災防止チェック表

確認内容	確認欄
燃えやすいもののそばで暖房器具を使用していませんか？	☐
暖房器具のそばにスプレー缶等を置いていませんか？	☐
安全装置が付いている暖房器具を使用していますか？	☐
暖房器具の火を付けたまま寝ていませんか？	☐
洗濯物を暖房器具の上で乾かしていませんか？	☐
給油の際に灯油であることを確かめてから行っていますか？	☐
暖房器具の火が完全に消えてから給油していますか？	☐
暖房器具に点火したら炎の調整や確認を必ずしていますか？	☐
カートリッジ式燃料タンクに給油した後は必ず蓋が完全に閉まっているか確認していますか？	☐



これだけ守れば暖房器具からの火災は防げます。

定期的にチェック表で確認し、普段から火災予防を心がけましょう。

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電話 52-3032
FAX 52-3033

病棟看護師のつぶやき

春分の候、いかがお過ごしですか？
さて、冬の凍結した所で転倒し、頭をうってしまった方。その時は何も症状がなかったかもしれませんが、1～2か月経った後、頭痛・嘔吐・片側の麻痺やしびれ・痙攣・言葉がうまく話せない・呆けや意欲の低下などの症状がみられる場合、慢性硬膜下血腫のおそれがあります。
慢性硬膜下血腫とは、頭がい骨の下にある脳を覆っている硬膜と脳との隙間に血が溜まり、脳が圧迫される病気です。頭をうってから徐々に血が溜まり、後から症状が出てくることがあります。

～慢性硬膜下血腫について～

血腫の大きさが小さい場合は自然に治癒する場合もありますが、外科的治療が必要となることがあります。慢性硬膜下血腫の診断にはCTスキャン、MRI検査が必要です。
自分で気づくこともあります。自覚症状がない場合もあります。まわりに「最近なんかおかしいな」「この様な症状があるな」と感じる方がいる場合は、病院受診をすすめてみてください。

宮下病院 看護師 佐竹 泉



④ 愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です！

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来（愛ばんしょ外来）」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……
「健康のことを考えたいけど、何をすればいいのかわからない」
「介護のコツを知りたい」
「話し相手が欲しい」
など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

＜各コーナーの開催時間のお知らせ＞
相談コーナー 午前9～12時、午後1時～午後4時
健康教室 午前11時～午前11時30分
住民交流事業 午前10時～午前11時
宮下病院外来待合室で行います。

月 日	内 容
3月8日④	・相談コーナー ・健康教室「冬の脱水」（講師：看護師）
3月15日④	・相談コーナー ・健康教室「トイレが近くて困っていませんか？」（講師：看護師）
3月22日④	・相談コーナー ・健康教室「押し花教室」（講師：千葉親子 氏）
3月29日④	・相談コーナー ・健康教室「備蓄品を使った簡単料理」（講師：管理栄養士）
4月 5日④	・相談コーナー ・健康教室「季節の変わり目は体調の変わり目」（講師：看護師）

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

費用は無料です。また、参加すると「みしま健康ポイント」が貯まります。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！（予約不要です） 職員一同、心よりお待ちしております！

宮下病院 ☎ (52) 2321

自衛官採用試験のご案内

募集項目	資 格	受付期間	試験日
幹部候補生 (一般)	22歳以上26歳未満の者	3月1日～5月1日まで	5月12日・13日
幹部候補生 (歯科・薬剤科)	専門の大学を卒業(見込含)した、20歳以上30歳未満の者		5月12日
予備自衛官補	一般	4月6日まで	4月14日～4月18日 (上記のいずれか1日を 指定されます)
	技能		

詳しくは下記までお問い合わせください。
自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所 会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎0242 (27) 6724



会津坂下警察署からのお知らせ
なりすまし詐欺の被害状況をお知らせします

福島県会津坂下警察署生活安全係
☎0242 (83) 3451

平成 29 年中の被害状況（県内）

- 被害件数 103 件（前年比 +2 件）
- 被害総額 1 億 9,869 万円（前年比 -1 億 962 万円）
（内訳）
 - 架空請求詐欺 51 件 1 億 270 万円
 - オレオレ詐欺 36 件 7,908 万円
 - 融資保証金詐欺 7 件 536 万円
 - 還付金詐欺 7 件 481 万円

被害の特徴

- 架空請求詐欺が大幅に増加し、被害全体の半分以上を占める
- 有料サイト利用名目などによる電子ギフト券、コンビニ決済の被害が増加
- 還付金等詐欺は、件数、被害額ともに減少



カクニンジャー福くん

福くんワンポイントアドバイス

○携帯電話に「有料サイトの利用料が未納です。」といったメールが突然届いても慌てないで！
※「もしかして、あの時、あのサイトを見ていたときに登録になったかな・・・」などと不安になり、連絡先に電話をしてしまうと、犯人は言葉巧みに架空の使用料等の支払いを要求してきます。
※通常、有料サイトの利用料金は、電話料金と一緒に請求がきます。

○サイト登録料や利用料等の名目で電子ギフト券による高額支払いを求められた場合は、詐欺です。
※電子ギフト券…アマゾンギフト券、楽天ポイントギフトカード等
※コンビニ決済（コンビニ収納代行サービス、13 桁の払込票番号をレジで伝えて支払う方法等）で支払わせるケースも増えてきています。

○「裁判になる。」などと脅されても慌てずに、まずは家族や警察に相談してください！

国家公務員「国税専門官採用試験」
（大学卒業程度）のお知らせ

仙台国税局では、バイタリティーあふれる国税専門官を募集しています。国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署等において、調査・徴収・検査や指導などを行う税務のスペシャリストです。

○受験資格

- 1.昭和63年4月2日から平成9年4月1日生まれの者
- 2.平成9年4月2日以降生まれの者
で次に掲げるもの
(1)大学を卒業した者及び平成31年3月までに大学を卒業する見込みの者
(2)人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

○受験申込受付期間

平成30年3月30日(金)から
4月11日(水)まで

○受験申込方法

受験申込みはインターネット申込みとする。国家公務員試験採用情報ZAV(http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm)なお、インターネットで申し込みない場合は、受験申込受付期間前に仙台国税局人事課第二課試験研修係へ連絡する。

○第1次試験日 平成30年6月10日(日)

問 仙台国税局人事第二課試験研修係
☎022(263)1111
(内線)3236

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

二 瓶 義 之 様（大 谷）
森 田 晋 一 様（川 井）

ひまわりサロン

3月15日(木) 午前10時～
町民センター

問 社会福祉協議会 ☎(52) 3344

町からお知らせ

3月分納税のご案内

【納期限 4月2日】

▼国民健康保険税(随期)

▼介護保険料(随期・普通徴収)

▼後期高齢者保険料(随期・普通徴収)

忘れずに納付ください。

問 町民課町民係 ☎(48) 5555

街頭犯罪発生件数（平成30年1月31日）

区 分	管 内	三島町
空 き 巢 ね ら い		
忍 び 込 み		
出 店 荒 ら し		
自 動 車 盗		
車 上 ね ら い	1	
ひ っ た く り		
街 頭 犯 罪 合 計	1	0
全 刑 法 犯	6	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。
※右記発生件数は、平成30年1月1日からの累計数となっています。

町の人口と世帯
2月1日現在

人口	1,674	-4	出生	1
男	822	-2	死亡	4
女	852	-2	転入	1
世帯	777	-2	転出	2

⑤住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

問 総務課総務係 ☎(48) 5511
※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。

お悔み申し上げます

五十嵐 ハナ子（99才・西 方）
二 瓶 フヂコ（96才・大 谷）

末永くお幸せに

今月はおりました。

はじめまして赤ちゃん

熊 谷 陽 介（宮下） 祐介・美和
鹿 狢 彩 芭（宮下） 毅・亜貴

町民記者通信 vol.2



2月15日、健康を守る会と和楽塾の合同による、健康づくり講座が開催されました。今回のテーマは「上手に食べて動脈硬化予防」。町の保健師さんと栄養士さんを講師に招き、高血糖と動脈硬化の関係や、体内での糖の働き、糖が多く含まれる食品などの話を聞きました。血管年齢の測定も行われ、中には歓喜の声も上がっていました。その後の食事では、会員有志の豚汁の提供があり、おにぎりなどを食べながら世代間を越えた談笑が見られました。出席できなかった高齢者の方には、配食サービスも行いました。寒さの厳しい一日でしたが、「ホッコリ」としたひとときを過ごしました。



文・写真 目黒民一さん（滝谷）

「冬の健康づくり講座」～滝谷地区～

雪国の伝統行事を再現

第46回 雪と火のまつり



第46回雪と火のまつりは2月10日、町民運動場で開催され、町内外から多くの来場者で賑わいました。国の重要無形民俗文化財「三島のサイノカミ」や「鳥追い」が再現され、「団子さし」が飾られた会場は、雪国の民俗文化に染まりました。会場では、川井地区と滝谷地区の方々がサイノカミを立てました。また、大登地区の皆さんの指導により、三島小・三島中の児童生徒と、いわき市四倉の子どもたちが、サイノカミ作りを体験。計5本のサイノカミが立ち並びました。辺りが暗くなつてくると、サイノカミに御神火が点火され、立ち上る炎が会場を赤く照らしました。



1_ 5本のサイノカミが燃え上がった。写真右側が川井地区、左側が滝谷地区のサイノカミ。2_ くじ付きみかんまきでは、福を引き当てた方々に各種賞品が贈られた。3_ 山木屋太鼓の迫力ある音が会場にこだました。4_ 「桐下駄飛ばし大会」下駄が勢いよく宙を舞った。5_ 総合司会を務めたペンギンナッツ（両端）が、おたねくん（中央）と会場を盛り上げた。

町長日記 何を守るのか No. 32

豪雪の中で、一人暮らしや二人暮らしの特に高齢者世帯の皆さんは不安で夜も眠ることが出来なかったのではないかと思います。我々行政は、克雪や利雪という言葉は何十年も使用していますが、特に克雪に対しては豪雪になると、社会は脆弱な基盤の上にあるんだと感じています。何年かに一度、東京などの人口密集地に5cmも積雪があると大騒ぎし、報道機関等は大々く報道する現実を見ると、我々過疎山村そして豪雪地域の住民は日常的に、早朝のまだ暗い時間から、除雪作業や排雪作業をしている高齢者の現実の姿を報道機関等で取り上げたことがあるのか、分断社会とか格差社会とか言う前に、日常的な生活の中からの矛盾を取り上げる報道を望みたいと考えています。

便利さを享受している都市部、その残りの少しを享受する過疎山村そして豪雪地帯は全ての面において、人口が少ないから虐げられるのか、私の考えすぎなのだろうか？ 芸能やスポーツや政治報道等々も否定はしないが、日常の生活からあまりにかけ離れた興味をそそるような報道が多くあるように感じます。且つ視聴率ほしさからかの報道のように思えて仕方ありません。地方、特に山村豪雪地域では、毎日が雪との戦いで、春になると何もなくった様に、雪は川から海に注ぐ水となり、あの戦いは何であったのかと毎年、考えます。もちろん雪の効果も理解していますが、豪雪から地域住民の生活を守ることが我々行政に課せられた、医療の確保と同様に安心・安全な町づくりの二丁目一番地でもあります。

そのためには、役場職員が危機意識を持つことは勿論ですが、区長さんや民生児童委員そして消防団の皆さんと連携して、雪国の生活を守ることが大事であります。その連携を充実させるのは町づくり基本条例の核である「協働」の精神をさらに構築していかなくてはならないと考えています。そのためには日常の業務を通して「如何に町民の皆様と寄り添う事だ」と考えています。また、元総理の田中角栄さんの政治家の原点の言葉を忘れることはありません。「雪というのはロマンじゃない。生活との戦いなんだ。地方分散、一極集中の排除というのは雪との戦いなんだよ。」この言葉を全身に受け、今後の町のかじ取りをしていきます。

この広報誌が皆様のお手元に届く頃は、私の裏の清水近くの土手の雪の間から、福寿草が咲き、奥会津に春を生ける「高清水の雛流し」が終わっていると思います。

三島町長 矢澤 源成

発行 三島町 編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5511

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

印刷 三洋印刷株式会社